

令和三年度 評価結果

幼保連携型認定こども園
大和郡山カトリック幼稚園

1. 園の教育目標

キリスト教の愛の精神に基づき、幼児たちが、神様から与えられた心身の能力を生かしながら、個性豊かに主体的に行動できる人になっていく事。また、神様が人に与えられた素晴らしい個々の賜物が発揮できるよう、素晴らしい世界を大切に、他者を思いやる愛の心、豊かな人格を育てていくことを教育目標とする。その目標に向かって、一人一人の幼児を心を込めて大切に見守りふさわしい環境を整え、保育者の研鑽にも努めるようにする事。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- * 保育環境（幼児の意欲と積極性の向上）
- * 職員の研修（保育現場での実践と応用）
- * 安全管理（事故、怪我の予防と健康管理・感染予防、防犯、避難訓練などを通して職員・園児の安全対応能力の向上を図る）
- * 幼保連携型認定こども園移行に伴う理解の促進と情報提供
- * 教育・保育の積極的な展開と内容の充実
- * 食育の向上（新厨房開設に伴う）

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
*保育環境	<ul style="list-style-type: none">● クラス運営は担任二人体制で、子どもの成長に最善となるような関わり、配慮を心掛けた。● 基本的な生活習慣が身につくよう、めりはりをつけた保育を行う。● 園庭の木々、花壇やプランターの季節の花を見て、子どもたちが季節感を感じ取ったり、お花の形や色を楽しめるよう、体験の選択肢を提供した。● 子ども達の秩序感に沿う部屋づくりのため、保育室内の清掃の他に、用具の整理整頓や美化を心がけた。● 園の重点目標や日常の教育・保育に反映されているかの観点から、園外保育を含め設定保育を見直したり、行事を計画した。● 仲間や自然との触れ合いの機会となるように近隣の公園に散策に出掛けた。● 園庭での活発な遊びができるよう、常時見守りの教員を配置した。● 個々の子どもの長所やすぐれた能力（運動能力も含む）を常に保育者全員で把握するよう努め、生長・発達を促すよう心がけた。● 生活に必要な身の回りの事を自分で行う力をつける。● 自分の思いを言葉で伝えたり相手の思いを知る中で、友達との関わりを深め遊

	<p>ぶことを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 年間を通して縦割り保育を行い、様々な場面で思いやり、繋がり、年長者への憧れが育つよう取り組んだ。 ● 友達との繋がりを広げ、集団で活動することを楽しむ。
*食育	<ul style="list-style-type: none"> ● 管理栄養士と密に連絡を取り、栄養が満たされるだけでなく、食べやすさ・彩り・季節感等様々な配慮がなされているかに留意する。 ● 発達・アレルギー等個々の体質に合わせた食事を提案できているかにも配慮する。 ● 食事のマナーを身に着け、食事を味わい楽しめるような雰囲気を作る。
*職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍だった為、ズームでの開催がほとんどだったが、出来る限り、園のパソコンで視聴し、みんなで研修を行った。 ● 初任者研修や、夏休み期間にある研修、カトリック研修、年間を通しての奈私幼の研修などに、積極的に参加をした。 ● 研修後には、研修レポートを各自提出して、レポートを全員で見て学ぶことが出来るようにし、研修の成果を共有した。またそれに基づいて、保育にすぐ生かせるもの、課題となるものなどを選別した。参加者は日常の保育から気付かなかったこと、様々なヒントを得て自己啓発につながった。 ● 令和三年度は、多様な発達障害のある子どもたちに適切に対応するため、専門的知識を要する研修は必須であり、関係機関と連携した。 ● 今後も、保育に還元するもののみならず自己成長するため、また専門性を高めていける様に、常日頃子どもたちをしっかりと観察し、保育を通して子どものニーズを知り、子どもから学べる姿勢を養っていく必要がある。 ● 日頃の保育活動の中での反省点、問題点、課題などを職員会で取り上げ、意見を交わして意識を高めておくことが研修会をよりよいものにする土台となっていることが確認できた。 ● 保護者懇談会などで、保護者の子育て感を聞き取り、連携して、必要な指導ができるように教員一同で考え合った。
*安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通安全、防犯や道路への飛び出し事故防止、園の門扉の開閉などについて保護者に注意を喚起し、徹底を促した。 ● 交通安全指導（大和郡山市企画）を実施し、交通標識、信号を守る、横断歩道、踏切の渡り方、知らない人についていかないなどの指導を受けた。 ● 園内での転倒やぶつかりなどによる救急の処置（病院への搬送も）について、職員で徹底を計った。また、室内、室外での園児の行動や状況を常に把握し、事故予防を行うことを確かめ合った。 ● 火災の発生を防いだり、地震など不測の事態・事故への備え、心構えについて命を守る視点から話し合った。避難訓練（火災、地震を想定）年2回実施した。 ● 子どもの心身の健康状態や発達あるいは変化を、保育者全員で把握し合い、

	<p>情報を共有することを旨とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特に障害や発達に遅れがある子には、家庭（親）と密に連絡をとり、専門医の見解も踏まえてその子に合ったベストな指導方法を検討した。 ● 食物アレルギーのある子には、細心の注意を払い、除去食、代替食などに配慮した。 ● 新型コロナウイルス感染のパンデミックが続き、園内でのクラスター感染防止のための対策、手立てについて検討を繰り返し行なった。市内の公立園に準じて、すみやかに休園措置を取った。 ● 休園中の園児の健康状態、様子を知るため、電話連絡を取り、不安を和らげるよう努め、励ました。
--	---

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	
良好	<p>こども園への移行に伴う新たな取り組み、重点目標、指導法などが盛り込まれました。</p> <p>園児たちが日々意欲的に活動に取り組めるよう、秩序感があり、めりはりのきいた保育ができるよう環境を整えることを重点に努めました。</p> <p>園児の安全・安心のみならず、保育の充実のためにも一人一人の園児を常に大切に見守る姿勢や、子どもと対等の関係に立って遊ぶこと、子どもとともに感動や喜びを共有できることが、教育目標の達成にもつながると考えています。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
* 職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 教員が保護者のニーズを共有しながら園児の特性や個性を尊重し、子どもを生きた教材として学び取り実践していくように努める。 ● 教員が子どもについての情報（長所、美点、賞賛にあたることなど）や観察した内容をお互いに交換し、連携を密にして行く。 ● 子ども同士の仲間づくり、育ち合いを知り、学ぶ。（仲間から受ける刺激、影響など） ● モンテッソーリ教育の「モデリング」の精神を自覚し、教師が子のモデルになるように言葉づかい、行動にわたり、その使命を達成するよう努める。
* 保育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 園児が日々新しい発見、気づき、感動が得られるよう、教員が園児一人一人に気持ち、愛情を込めて向き合い、子どもと喜びを共にする。 ● 絵画・英語・音楽・体育の専門教師と連携を計り、日常の保育に見られない子どもの特徴や様子なども掌握し、子どもの情操、能力、素質などについても意見交換を行う。

*安全管理	● 交通安全、地震、火災など、機会があるごとに指導し、子どもたちの意識に常にいだかせ身を守るようにする。
*保護者と園との密な協力、連携	● 園の教育方針と園活動について、保護者の理解を深めていただけるよう、園からの情報発信をまめに行い、「いくみ会」やホームページなどを通して理解と協力を求めて行く。特にコロナウィルス感染予防の対策には、家庭と連携をとり万全を期す。
*情報の共有、発信	● 子ども達の中に育っているもの、幼稚園での取り組みの他に、本年度からのこども園への移行措置について、きめ細かく保護者や地域の方々にも広く知っていただけるように発信していく。

6. 関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> ● 新園舎、園庭の開設に伴い、保育室の環境・設備などが格段に向上し、人的環境のみならず、日々の保育が整然と行われていることがうかがわれる。 ● 研修については、教員としての専門性、資質の向上についての自覚があり、研修報告などをやりながら互いに学び合っている。研修内容の勉強会も行うなど研修の学びを保育に生かすように努力している。 ● 安全については、防犯や火事・災害などの対応策はとられている。障害や発達が遅れている子にも配慮がなされ、教員の配置にも配慮されている。 ● 教員は送迎バスの乗務や預かり保育など二交代制でやり繰りしながら、保育全般に活発に取り組んでいる。また、子どもたちの自立と自律心を養うためにモンテッソーリ教育の精神を取り入れた保育を行っている。 ● こども園への移行に伴い、市民からも今後大きな期待が寄せられて来ると思われます。 ● 現在社会が多様化している時代、子育てには、地域社会と園と保護者のつながり、連携がますます大切になって来ることは言うまでもありません。大和郡山カトリック幼稚園の今後の使命、役割に大いに期待を寄せております。 ● 新園舎・園庭の建設工事のため長期間にわたり通園・登降園などに不便なことも多々あった。 ● ホームページの活用を広げ、園活動の周知や意見交換の場にして欲しい。 ● コロナ禍により各種の園行事が縮小されたり、中止になったりしたことが心残りであるとの意見が出ている。 ● 制服・靴などのリユース・リサイクル活用を促進して欲しいとの希望が上がっています。 ● 保護者有志によるサークル活動を希望している方もおられます。
